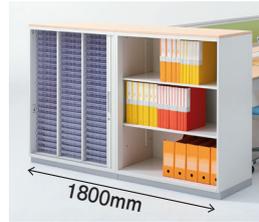
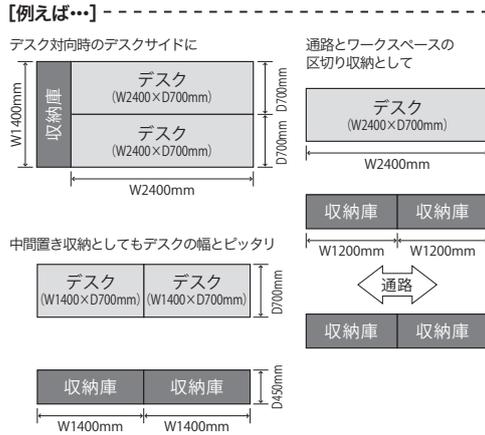


Point 1 サイズの組合せが自在にでき、効率よく収納スペースをつくれます

デスクサイドにピタッと収めたいときに

デスクサイドにW1400(もしくはW700を2つ)、W1200の収納を配置すれば、デスクの奥行きと収納の幅がピッタリそいます。



収納とパーティション機能を一緒に

通常サイズの収納をデスクサイドに組み合わせれば、パーティションとしても機能します。

ちょっとしたミーティングスペースに天板を取り付けば、カウンターテーブルとして機能。新たなミーティングスペースを作り出せます。

Point 2 多様なタイプをご用意 それぞれのシーンに合わせた使いやすさが特長



180°オープン扉

両開き扉は180°オープンなので、歩行の邪魔になりません。狭い通路に設置しても、扉を気にせずに出し入れができます。また、ヒンジ部が外に飛び出していないため安全です。



3枚引違い扉

収納物の出し入れがしやすい3枚引違い保管庫。2枚引違い扉に比べ、約3割開口部が広がるため中央部分の収納物でも出し入れがしやすくなります。



シャッター扉

扉が両サイドに入り込むので、開放しにしても通路を妨げません。狭い通路での設置にお薦めします。



シャッター付クリアケースキャビネット

収納物の有無を外から確認できるクリアケース。見出しラベルのスペースもあり、一覧性を向上させています。また、シャッターが付いているので、一括で施錠が可能です。

パーソナルロッカーNLシリーズ
オフィスワークに必要な個人荷物の収納や、非出社日の郵便物・宅配荷物の受け取りに。



LINK
パーソナルロッカーNLシリーズについては、P.422をご参照ください。

Point 3 見た目にもスマートさを追求しました



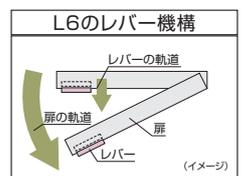
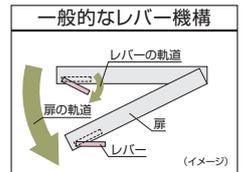
シームレスデザイン

表面のでっぱりを極限まで抑えたフラット設計。目立ちがちな取手まわりやヒンジ部をすっきりと扉に収めたため、連結時でもフラット感を損ないません。



取手・スライドハンドル

デザイン性とユーザビリティを両立させた大型取手。前後にスライドするレバー機構により、扉の開閉動作をサポートします(両開き扉のみ)。また、指のかかりやすいレバー形状と大きな開口部を設けたことで、手を差し込みやすく、つかみやすいデザインにしています。



Point 4 さまざまなシーンで使いやすさを発揮する優れた機能性



扉裏収納ボックス

パーソナルロッカーの裏には、封筒や書類などを入れられる収納ボックスが標準で付いています。また、両開き扉には封筒や小さなものを入れられる、収納ボックスをオプションで付けることができます。すぐに取り出したいものや使用頻度の高い小物の収納に便利です。※パーソナルロッカータイプは、改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



鍵フック

両開き扉の取手裏のフックに鍵を掛けておくことで、鍵の紛失防止や管理に役立ちます。



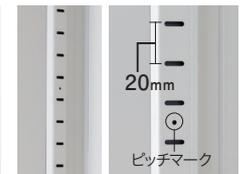
オープンラテラル

扉を上部へ格納するとオープン棚として使えます。収納物を手前に引き出し、一覧することが可能です。



ダブルサスペンションレール

引出しの開閉動作がなめらかな、ボールスライド形式のダブルサスペンションレールを採用。出し入れの際に腕にかかる負荷も軽減できます。



20mm棚ピッチ

収納物にあわせて変えられる棚間隔。棚の取付位置は20mmピッチで変えられるので、収納物にあわせて調節できます。※棚板を等間隔に取り付ける際に目印となる、ピッチマークを記しました。